



平成29年6月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成29年2月10日

上場会社名 株式会社ウイルプラスホールディングス 上場取引所 東
 コード番号 3538 URL http://www.willplus.co.jp/
 代表者 (役職名)代表取締役社長 (氏名)成瀬 隆章
 問合せ先責任者 (役職名)常務取締役管理本部長 (氏名)柴田 学爾 (TEL)03(5730)0589
 四半期報告書提出予定日 平成29年2月13日 配当支払開始予定日 平成29年3月10日
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 有(アナリスト・機関投資家向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成29年6月期第2四半期の連結業績(平成28年7月1日~平成28年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29年6月期第2四半期	11,600	18.1	631	35.8	627	36.1	387	37.5
28年6月期第2四半期	9,819	—	465	—	460	—	281	—

(注) 包括利益 29年6月期第2四半期 387百万円(37.8%) 28年6月期第2四半期 281百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
29年6月期第2四半期	168.21	166.75
28年6月期第2四半期	148.08	—

(注) 当社は、平成27年6月期第2四半期においては四半期連結財務諸表を作成していないため、平成28年6月期第2四半期の対前年同四半期増減率を記載しておりません。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
29年6月期第2四半期	8,350	3,808	45.6
28年6月期	7,914	3,519	44.5

(参考) 自己資本 29年6月期第2四半期 3,808百万円 28年6月期 3,519百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
28年6月期	—	0.00	—	43.00	43.00
29年6月期	—	10.00	—	—	—
29年6月期(予想)	—	—	—	34.00	44.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有

平成28年6月期期末配当の内訳 普通配当28円00銭 記念配当15円00銭

3. 平成29年6月期の連結業績予想(平成28年7月1日~平成29年6月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	22,533	6.8	1,098	23.8	1,087	25.5	670	35.9	291.05

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

- ① 期末発行済株式数（自己株式を含む）
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数（四半期累計）

29年6月期2Q	2,382,720株	28年6月期	2,382,720株
29年6月期2Q	78,640株	28年6月期	78,640株
29年6月期2Q	2,304,080株	28年6月期2Q	1,903,980株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビューの対象外であり、この四半期決算の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は完了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	4
(1) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(2) 追加情報	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(セグメント情報等)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、政府や日本銀行主導による経済対策、金融緩和策により、企業業績や雇用環境において緩やかな回復基調で推移いたしました。一方で新興国や資源国の景気減速による影響に加えて、イギリスの欧州連合（EU）離脱問題に端を発する欧州の混乱、米国大統領選後の新政権の政策に対する警戒感等により、景気の先行きについては依然、不透明な状況が続いております。

輸入車販売業界におきましては、フォルクスワーゲン及びそのグループ会社であるアウディがディーゼル車の不正問題によるブランドイメージ低下の影響で販売が大きく減少していますが、その他ブランドが対前年同期比で増加したこと等により、外国メーカー車の新車登録台数は、149,613台（対前年同期比6.2%増加）と増加しました。

（出典：日本自動車輸入組合HP 統計情報輸入車登録台数の推移）

このような経営環境の下、平成28年10月に、連結子会社のチェッカーモータース株式会社にて「JEEP福岡西」を福岡県福岡市西区に新規オープンいたしました。JEEPブランドとしては、西日本では初の最新のCI（コーポレート・アイデンティティ）建築に準拠したショールームになります。

当社グループでは引き続き、車輛販売のみならず、車輛整備や損害保険の代理店業といった周辺事業においても業容の拡大に注力するとともに、更なる経費削減や人員の適正配置による効率化を図って参りました。

このような状況の下、当第2四半期連結累計期間におきましては、売上高は11,600百万円（前年同期比18.1%増加）、営業利益は631百万円（前年同期比35.8%増加）、経常利益は627百万円（前年同期比36.1%増加）、親会社株主に帰属する四半期純利益は387百万円（前年同期比37.5%増加）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

①資産、負債及び純資産の状況

当第2四半期連結会計期間末における総資産の残高は、前連結会計年度末に比べ、435百万円増加し、8,350百万円となりました。

流動資産は、前連結会計年度末に比べ、90百万円増加し、5,002百万円となりました。これは主に、商品が177百万円増加した一方で、現金及び預金が64百万円減少したこと等によるものであります。

固定資産は前連結会計年度末に比べ345百万円増加し、3,347百万円となりました。これは主に、福岡県福岡市内におけるMINIならびにボルボの店舗移転に伴う店舗設備の取得等により、有形固定資産が372百万円増加した一方で、のれんが償却により47百万円減少したこと等によるものであります。

流動負債は、前連結会計年度末に比べ356百万円減少し、3,493百万円となりました。これは主に、商品仕入により買掛金が362百万円減少したこと等によるものです。

固定負債は、前連結会計年度末に比べ503百万円増加し、1,048百万円となりました。これは、福岡県福岡市の店舗設備等の取得に伴い、資産除去債務が43百万円増加し、また長期借入金が464百万円増加したこと等によります。

純資産は、前連結会計年度末に比べ、288百万円増加し、3,808百万円となりました。これは期末配当金支払が99百万円あったものの、親会社株主に帰属する四半期純利益が387百万円あったこと等により利益剰余金が増加したためであります。

②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物(以下、「資金」という。))は、前連結会計年度末に比べ64百万円減少し、1,315百万円となりました。当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果、使用した資金は337百万円(前年同期は73百万円の収入)となりました。これは税金等調整前四半期純利益が615百万円、減価償却費が187百万円あったものの、売上債権の増加額が301百万円、仕入債務の減少額が362百万円、たな卸資産の増加額が285百万円、法人税等の支払額が194百万円あったこと等によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果、使用した資金は262百万円(前年同期は204百万円の支出)となりました。これは主に、福岡県福岡市の店舗移転による店舗設備の取得によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動により、獲得した資金は534百万円(前年同期は26百万円の支出)となりました。これは、長期借入金の返済が164百万円、配当金の支払額が98百万円あったものの、長期借入金800百万円の増加によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

売上高は、下期にニューモデルの投入やフルモデルチェンジを控えており、引き続き、順調に推移する見込みであります。利益面においては、当初予定しておりました出店・移転が計画どおりに完了したこともあり、下期は当初の計画どおりに進捗する見込みであることから、第2四半期累計期間の業績及び下期の見通しを踏まえ、平成28年8月12日の決算発表時に発表いたしました平成29年6月期通期業績予想を修正しております。

なお、詳細につきましては、本日別途開示します「平成29年6月期通期連結業績予想の修正並びに剰余金の配当(中間配当)及び配当予想(増配)に関するお知らせ」をご参照ください。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

(税金費用の計算)

税金費用については、当第2四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(2) 追加情報

(繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針の適用)

「繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針」(企業会計基準適用指針第26号 平成28年3月28日)を第1四半期連結会計期間から適用しております。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成28年6月30日)	当第2四半期連結会計期間 (平成28年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,380,073	1,315,796
売掛金	155,630	163,269
商品	2,606,043	2,783,668
仕掛品	47,331	48,006
原材料及び貯蔵品	129,620	147,264
その他	595,660	546,633
貸倒引当金	△1,971	△1,858
流動資産合計	4,912,390	5,002,780
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	864,601	1,276,150
その他(純額)	1,165,460	1,126,363
有形固定資産合計	2,030,062	2,402,514
無形固定資産		
のれん	511,533	464,097
その他	50,414	57,210
無形固定資産合計	561,948	521,308
投資その他の資産	410,486	424,018
固定資産合計	3,002,496	3,347,841
資産合計	7,914,886	8,350,621

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成28年6月30日)	当第2四半期連結会計期間 (平成28年12月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	1,595,091	1,232,663
短期借入金	600,000	600,000
1年内返済予定の長期借入金	280,356	451,152
未払法人税等	196,247	227,762
賞与引当金	35,188	40,828
その他	1,142,844	940,685
流動負債合計	3,849,727	3,493,092
固定負債		
長期借入金	452,130	916,850
資産除去債務	58,006	101,875
その他	35,221	30,154
固定負債合計	545,358	1,048,880
負債合計	4,395,085	4,541,972
純資産の部		
株主資本		
資本金	168,238	168,238
資本剰余金	1,101,776	1,101,776
利益剰余金	2,305,658	2,594,161
自己株式	△55,048	△55,048
株主資本合計	3,520,625	3,809,128
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△824	△479
その他の包括利益累計額合計	△824	△479
純資産合計	3,519,801	3,808,649
負債純資産合計	7,914,886	8,350,621

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成27年7月1日 至 平成27年12月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成28年7月1日 至 平成28年12月31日)
売上高	9,819,826	11,600,522
売上原価	7,579,810	9,146,686
売上総利益	2,240,016	2,453,835
販売費及び一般管理費	1,774,543	1,821,955
営業利益	465,473	631,880
営業外収益		
受取利息	421	282
受取保険金	2,555	2,319
その他	1,917	934
営業外収益合計	4,895	3,536
営業外費用		
支払利息	8,353	7,273
その他	1,162	953
営業外費用合計	9,515	8,227
経常利益	460,852	627,189
特別利益		
固定資産売却益	350	—
特別利益合計	350	—
特別損失		
固定資産除却損	1,616	11,734
特別損失合計	1,616	11,734
税金等調整前四半期純利益	459,587	615,455
法人税等	177,639	227,877
四半期純利益	281,948	387,578
親会社株主に帰属する四半期純利益	281,948	387,578

四半期連結包括利益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成27年7月1日 至 平成27年12月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成28年7月1日 至 平成28年12月31日)
四半期純利益	281,948	387,578
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△343	345
その他の包括利益合計	△343	345
四半期包括利益	281,605	387,923
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	281,605	387,923

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

	(単位：千円)	
	前第2四半期連結累計期間 (自 平成27年7月1日 至 平成27年12月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成28年7月1日 至 平成28年12月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	459,587	615,455
減価償却費	174,915	187,801
のれん償却額	47,436	47,436
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△163	△112
賞与引当金の増減額(△は減少)	△583	5,640
受取利息及び受取配当金	△421	△282
支払利息	8,353	7,273
固定資産売却損益(△は益)	△350	-
固定資産除却損	1,616	11,734
売上債権の増減額(△は増加)	7,688	△301,999
たな卸資産の増減額(△は増加)	△700,576	△285,244
仕入債務の増減額(△は減少)	379,385	△362,428
その他	△134,385	△61,665
小計	242,501	△136,391
利息及び配当金の受取額	421	282
利息の支払額	△8,374	△6,755
法人税等の支払額	△161,397	△194,140
営業活動によるキャッシュ・フロー	73,151	△337,005
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△182,745	△231,616
有形固定資産の売却による収入	350	-
無形固定資産の取得による支出	△20,030	△12,200
敷金及び保証金の差入による支出	△8,003	△48,119
敷金及び保証金の回収による収入	7,000	31,703
その他	△1,037	△1,967
投資活動によるキャッシュ・フロー	△204,465	△262,200
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入れによる収入	-	800,000
配当金の支払額	-	△98,807
短期借入金の純増減額(△は減少)	100,000	-
長期借入金の返済による支出	△126,818	△164,484
リース債務の返済による支出	-	△1,779
財務活動によるキャッシュ・フロー	△26,818	534,929
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△158,131	△64,276
現金及び現金同等物の期首残高	974,633	1,380,073
現金及び現金同等物の四半期末残高	816,502	1,315,796

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

当社グループは、輸入車販売関連事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。